

田村市の文化財

『坂上田村麻呂①』

岡教育部生涯学習課 81・1215

平成17(2005)年3月に合併し、田村市となった滝根町、大越町、都路町、常葉町、船引町は、もともと三春町、小野町とともに田村郡を形成していました。また、昭和40(1965)年まで、現在の郡山市田村町、中田町、西田町も田村郡でした。「田村」という地名は、坂上田村麻呂(以下、田村麻呂)の名が由来しているといわれ、この地域には田村麻呂に関する多くの伝説が残っています。

では、なぜこの地域に田村麻呂伝説が残っているのでしょうか。平安時代初期、天皇を中心とした中央集権国家ができてつづつある中、当時の東北地方は、蝦夷によって治められていました。それを倒して統一国家を作ろうと、蝦夷征伐が何度か行われ、田村麻呂が征夷大將軍として東北地方を平定した功績が認められたからでしょう。室町時代前半、この地を治めた田村庄司一族や、その後、戦国時代にこの地を治めた田村義頭、隆頭、清頭、田村三代も姓を「田村」としたのは、田村麻呂がこの地を平定したことから、「田村」と名乗れば平定できる』と考えたからかもしれません。

田村麻呂伝説は、田村麻呂の父と母の出会いから田村麻呂誕生、幼少期のエピソード、その後の母との再会といった田村麻呂本人に関するもの、この地方を治めていた蝦夷との戦いに関するもの、入水寺や堂山王子神社、大鐘矢神社など寺院や神社の創建、勧請に関するもの、地名や草木、岩などの呼称に関するもの、田村麻呂の敵としてこの地方を治めていた蝦夷の頭領・大多鬼丸など、蝦夷側を主人公としたものなどに大きく分類できます。

今回はその中で、田村麻呂の誕生に関するものにスポットを当てます。

田村麻呂の父・菊田麻呂が蝦夷との戦いを終えて京に帰る途中、木賊田村(郡山市田村町徳定)で阿口陀姫に会い、田村麻呂が生まれたものの、「田村麻呂が成人したら京に連れてくるように」と言い残し、菊田麻呂は帰ってしまいます。のち



に成人し、京にのぼり、征夷大將軍となつてこの地に戻った時、母と再会をしますが、その場所を「あいごうの橋(別に行合橋とも)」と呼ぶようになりました。

ただ、田村麻呂の母親は小野町の郷士の娘が母であったや、木賊田村で出会った女性が虎丸長者の下女であったという伝説もあります。

次回は、田村市に残る神社、仏閣や地名に関する田村麻呂伝説を紹介します。

次回は「坂上田村麻呂②」を紹介する予定です。

田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



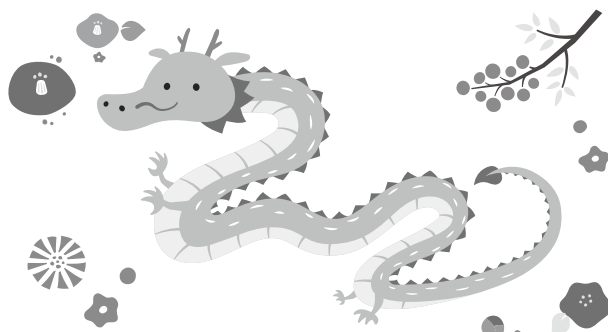
1 坂上田村麻呂像(郡山市所蔵)

2 母・阿口陀姫を祀る谷地神社(郡山市田村町徳定)

広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課
(☎0247-81-2117) へ



人とのつながりに日々感謝

こんにちは、地域おこし協力隊の熊谷です。2022年8月に着任し、1年半ほど、たちました。ゆったりとした時間の中で生活し、東京で働いていた時に比べ、心身ともに健康になったと感じています。移住後、友達や家族に「顔が明るくなった」と言われ「田村市に来てよかった」と改めて思いました。

地域おこし協力隊奮闘記

現在は、田村市への移住を考えている方向けのイベントや体験ツアーの企画運営のほか、市民の方向けの交流会やフェスの企画などを行って



イシモリフェスでのワークショップの一コマ

います。また「本好きとつながりたい」という思いから、毎月「ホンノムシ」という読書会を実施しています。

イベントの企画・運営を行う中で、地域の方に協力いただく場面が多いのですが、田村市の皆さんはいつも快く親身になって力を貸してくださり、とても助けられています。きちんと現地に足を運んで、顔を見ながら話をする大切さを日々実感しています。

今後は、田村市の魅力ある場所や人と出会えるようなツアーの企画、またインバウンドを見据えて海外の方を案内できるような知識・言語の習得をできたらと思っています。読書会の参加も随時募集しています。

海を越えて 英語指導助手ペンリレ No.126

1月7日は、日本での生活が5年目を迎える記念すべき日です。この日は郡山に行き、駅の中にあるとんかつ屋さんで食事をして祝う予定です。このレストランは、日本に来て最初に食事をした場所で、かつ丼を味わいました。

日本での4年間は、私に何を教えてくれたでしょうか。私は、より辛抱強くなること、もっと自然に目を向けることを学びました。また、日本の人々がいかに親切で好意的かを教わりました。日本では、いろいろな場所に行きました。片曾根山、移ヶ岳、鎌倉岳などをハイキングしました。その中で、移ヶ岳の眺めが最高でした。まだ九州や北海道に行ったことがないので、次に行ければと思います。

私は生徒が大好きです。優秀で面白く、私が日本語を勉強するのを毎日助けてくれます。英語を学ぶのは大変なことですが、



ジェシー・ケイドさん
アメリカ合衆国テキサス州出身
(田村市に来て5年目)

日本での私の時間

が、生徒たちはベストを尽くして挑戦してくれることがうれしいです。昨年は、たくさんの思い出を作りました。東北大会に出場する船引中学校合唱部の合唱と吹奏楽部の演奏を聴くために、秋田県と青森県に行きました。合唱は美しく、感動しました。演奏はずっとほほ笑んで見られるほど、力強かったです。

昨年11月には、吹奏楽部が出場したマーチングバンドの全国大会を見ました。全国の舞台で、マーチングを披露する生徒を見て、一番誇りに思いました。

また、バスケットボール、卓球、サッカーなどの部活動で活躍する生徒たちの姿も楽しんで見られました。今年は、もっと他の部活動の生徒たちも見たいと思います。神様からいただいた能力を発揮し、部活動で活躍する生徒たちを見られるのが、日本で一番好きなことです。

